

お知らせ します！ 市の財政状況



☎ 財政課 36-7123

市では、毎年6月と12月の年2回、「市の財政状況」を公表しています。今回は、令和3年度の決算と令和4年度上半期(4～9月)の予算執行状況について、お知らせします。

1 令和3年度 決算状況

① 一般会計決算

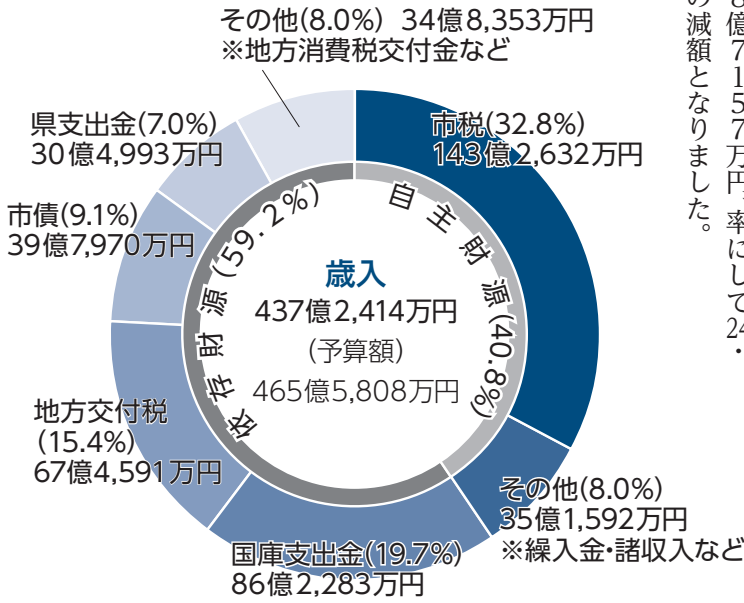
一般会計の歳出総額は417億3,892万円、令和2年度に比べて147億8,448万円、率にして26.2%の減額となりました。歳入総額は437億2,414万円、令和2年度に比べて138億7,157万円、率にして24.1%の減額となりました。

健全化判断比率

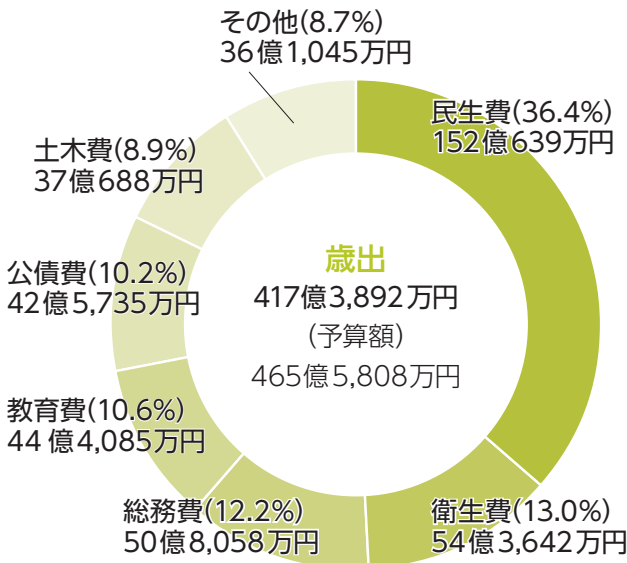
全ての会計が黒字となり(赤字の比率はなし)、実質公債費比率は6.2%、将来負担比率は19%になりました。実質公債費比率の低下は、元利償還金の額が減少したことや、合併特

例事業債、臨時財政対策債など、今後の元利償還金に対する普通交付税措置の高い市債に絞って借り入れていることなどによります。将来負担比率が算定された要因は、債務負担行為に基づく支出予定額や公営企業債等繰入見込額といった将来負担額が、増加したことなどによります。

歳入の内訳(構成比%)



歳出の内訳(構成比%)



※歳入・歳出ともに、数値は端数処理で調整してあります。

資金不足比率

公営企業経営における、料金収入(事業規模)に対する資金不足額(赤字額)の比率を表したもので、全ての会計において赤字はありません。

経常収支比率(表3)

財政構造の弾力性を示すもので、歳出に占める経常経費(人件費などの欠かせない経費)の割合を示します。

財政力指数(表4)

地方公共団体の財政基盤の強さを示す「財政力指数」は、数値が高いほど財政力が強いことを表します。

会計	令和3年度末	令和2年度末
一般会計	416億8,133万円	417億9,539万円
特別会計	0円	0円
企業会計	208億6,388万円	201億7,875万円
合計	625億4,521万円	619億7,414万円
市民1人当たり	64万6,335円 (9万6,769人)	63万5,828円 (9万7,470人)

※道路整備などのために、国などから長期にわたって借りるお金(市債)。市民1人当たりの金額は、各年度の3月31日現在の人口から算出。

基金名	令和3年度末	令和2年度末
財政調整	55億1,530万円	55億1,474万円
学校施設整備	7億6,275万円	7億3,840万円
新病院建設	1億6,885万円	2億3,465万円
その他	70億1,110万円	63億4,433万円
合計	134億5,800万円	128億3,212万円
市民1人当たり	13万9,073円 (9万6,769人)	13万1,652円 (9万7,470人)

※目的別に貯めているお金(基金)。市民1人当たりの金額は、各年度の3月31日現在の人口から算出。現在は18基金。

借りにいるお金

貯めているお金

■ 実質公債費比率(表1)

項目/年度	R3	R2
島田市の状況	6.2%	6.8%
県内市の平均	5.4%	5.7%
早期健全化基準	25.0%	25.0%
財政再生基準	35.0%	35.0%

■ 将来負担比率(表2)

項目/年度	R3	R2
島田市の状況	1.9%	—
県内市の平均	7.5%	15.6%
早期健全化基準	350.0%	350.0%

■ 経常収支比率(表3)

区分/年度	R3	R2
島田市の状況	87.2%	92.6%
県内市の平均	85.0%	89.5%

※経常収支比率が高くなりすぎると、投資的事業(道路や学校の建設など)に対する予算が不足してしまいます。

■ 財政力指数 単年(表4)

区分/年度	R3	R2
島田市の状況	0.69	0.74
県内市の平均	0.82	0.88

※標準的に必要とされる予算規模のうち、自主財源でまかなわれる割合を示します。

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	97億9,994万円	91億2,676万円
土地取得事業	7億5,967万円	7億5,967万円
休日急患診療事業	7,063万円	6,938万円
介護保険事業	87億2,766万円	86億2,957万円
介護サービス事業	8,043万円	7,816万円
後期高齢者医療事業	12億9,820万円	12億9,808万円

国民健康保険事業や介護保険事業などの6事業は、一般会計と経理を区分して、事業の収支を明確にするために、それぞれ個別に特別会計を設けています。
各特別会計は、保険税や保険料、国県支出金などにより運営しています。令和3年度の決算額は、左の表のとおりです。

特別会計決算

会計名	区分	収入	支出
水道事業	収益的	13億1,341万円	11億7,678万円
	資本的	3億9,593万円	9億5,345万円
	合計	17億934万円	21億3,023万円
病院事業	収益的	143億7,346万円	172億7,383万円
	資本的	22億203万円	26億1,397万円
	合計	165億7,549万円	198億8,780万円
公共下水道事業	収益的	7億1,018万円	6億6,104万円
	資本的	3億8,124万円	6億3,934万円
	合計	10億9,142万円	13億38万円

※資本的支出に対する資本的収入の不足は、留保資金などにより補てんします。

公営企業は、利用者からの料金により、公共の福祉の増進を目的に経営する事業で、水道・病院・公共下水道事業を公営企業会計により運営しています。
各事業の運営費を「収益的支出」、それに充てる料金収入などを「収益的収入」といい、事業に必要な施設・設備の整備費を「資本的支出」、企業債などその財源を「資本的収入」といいます。

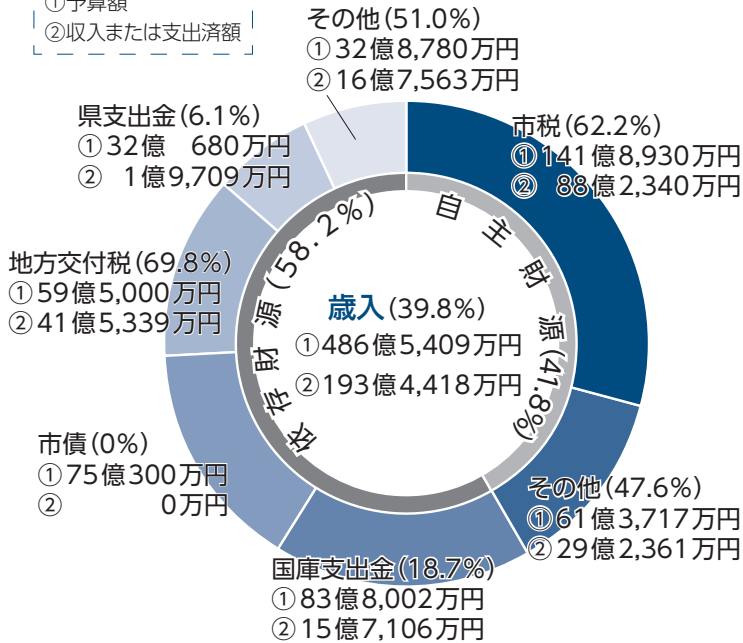
企業会計決算

2 令和4年度 上半期執行状況 (令和4年9月30日現在)

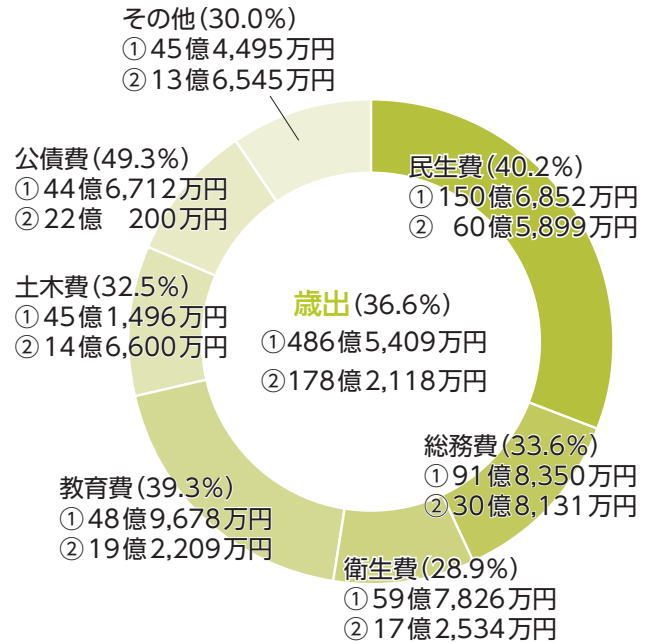
一般会計執行状況 予算額: 486億5,409万円

費目(執行率)
① 予算額
② 収入または支出済額

歳入の内訳



歳出の内訳



特別会計執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	93億5,863万円	41億5,103万円	35億5,755万円
土地取得事業	7億7,475万円	7億5,967万円	0万円
休日急患診療事業	7,094万円	551万円	2,003万円
介護保険事業	94億8,848万円	42億5,752万円	36億5,147万円
介護サービス事業	7,628万円	2,893万円	3,844万円
後期高齢者医療事業	14億1,345万円	4億5,187万円	3億248万円

企業会計執行状況

会計名	区分	収入		支出	
		予算額	収入済額	予算額	支出済額
水道事業	収益的	12億5,469万円	6億486万円	12億3,568万円	3億5,919万円
	資本的	3億8,712万円	462万円	8億1,930万円	1億5,349万円
	合計	16億4,181万円	6億948万円	20億5,498万円	5億1,268万円
病院事業	収益的	134億6,010万円	69億6,829万円	156億4,479万円	59億7,353万円
	資本的	12億2,380万円	1億4,247万円	39億407万円	4億759万円
	合計	146億8,390万円	71億1,076万円	195億4,886万円	63億8,112万円
公共下水道事業	収益的	7億514万円	3億9,823万円	7億1,640万円	2億9,587万円
	資本的	6億4,306万円	3億9,323万円	8億8,847万円	3億4,910万円
	合計	13億4,820万円	7億9,146万円	16億487万円	6億4,497万円